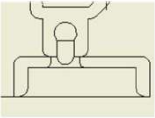


第62回大会 競技課題の公募のフロー（案）

61回反省会	イベント	テーマの公表：主査 モチーフになるべく似通うように、「ショベルカー」、「ヘリコプター」など、題名は一つに絞り限定的にする。 写真やイラストなどでイメージを共有する。 タイプの違う製品を数点提示し、機構のバリエーションのアイデアを促進する。 → グラブタイプ  ↑ バケットのタイプ → キャタピラではなく タイヤのタイプ  ←  機体が薄く 2部品で、構成。 車輪や尾翼のプロペラ再現も できそう。 ↑  機体が平たく 1軸方向に設計しやすく ①機体②水平翼③プロペラ④尾翼 で構成できる
1月初週～3月5週	イベント	提案図面受付期間① ・課題の名称は「ショベルカー-A」や「ショベルカー-B」などとし、主査が提案期間開始時にアルファベットを割り当て、個別に企業にメール連絡し、提案企業は題名に指定されたアルファベットをつける。 ・この段階では変更寸法WXYZの設定は不要。 ・「課題の特徴」の資料においては、組み合わせの機構や加工の難易度などに特化した内容で記載し、設計者の意図が分かりやすいものにする。機構などは、目新しいものでなくても可。 ・例年通り製作可能なことを裏付けるものとして製品の写真を添える。 「課題の特徴」の資料例（一部）： ※61回大会提案課題「産業用ロボット」 ・部品同士の嵌め合わせについて、過去出題されていない方法を採用しております。いずれも回転しますが図面に提出状態を明記しており競技としては全選手一様の状態で評価していただけます。また、嵌め合わせの固さや緩さは刃物の外径による出来あい同士の嵌めあいではなく、選手自身が試作の繰り返しにより狙い寸法の工夫にて調整できます。   部品①②のボールジョイント機構 部品②③の角柱フィレットの円への内接機構
4月初週 (大会7か月前)	イベント	図面の公表①、一次投票の開始 ・提案企業名は匿名にする。 ・「課題の特徴」の資料も同時に公表する。 ・図面に対する質問事項などの意見収集は行わない。 ・同時に、一次投票を開始する。 ①参加企業は2票投票権を持つ。提案したかどうかを問わない。 ②自薦不可。集中投票も不可。 ③主査、競技委員票を導入する。1人2票。企業競技委員は除外。集中投票は不可。
4月3週 (大会6か月前) ～6月3週 (大会4か月前)	イベント	投票結果の公表・ブラッシュアップ課題の開発 ・得票上位4つの課題図面を提案した企業が、下記の通り課題開発を行う。 ①得票が多かった図面の、「課題の特徴」を参考に、自企業の図面を主軸としつつできるだけ他の特徴を盛り込んだ製品を設計する。上位4つはもちろん、下位得票の製品の特徴を取り入れても可。 ②製品の写真を貼付する。 ③「課題の特徴」の資料は再び作成する。 ④変更寸法WXYZを設定する。
6月4週 (大会4か月前) ～8月3週 (大会2か月前)	イベント	図面の公表②、競技課題4候補の精査期間 ・提案企業名は匿名にする。 ・「課題の特徴」の資料も同時に公表する。 ・図面に対する意見収集（寸法抜けや変更寸法に対する解釈など）を行う。 ・全企業、訓練での製作を通じて難易度や加工時間等の観点から4候補の精査を行う。
8月3週 (大会2か月前) ～8月4週 (大会2か月前)	イベント	二次投票の開始 ①参加企業は2票投票権を持つ。提案したかどうかを問わない。 ②自薦不可。集中投票も不可。 ③主査、競技委員票を導入する。1人2票。企業競技委員は除外。集中投票は不可。
8月5週 (大会2か月前)	イベント	最終候補2課題の公表（企業連絡会） ・最終候補2課題を公表する。 ・主査は、提案企業に最終的な競技使用図面の作成を指示する。図面の見た目を揃える。i-partを使用し、図面が変動寸法に応じて自動生成される仕組みを作る。（企業競技委員が補佐する。） ・最終的な図面は、完成次第第2公表する。